

今、甦る幻の旅芸人チョンダラー

「小禄ウルルカチ垣又花カチミングウチ那覇又町ンカイヤサツ」

【あらすじ】

さんご礁を囲む白いリーフ、水平線、サバニが揺れる。
時折、ジュゴンもエメラルドグリーンの海に遊ぶ。
色とりどりの魚が採れ米や粟も豊かに実る美しい島だ。
ところが、どうした事でしょう？
この平和な島に次々と不可解な事件が起きる。
雨が降らず作物は枯れ始める。魚はサッパリ獲れなくなる、
入り江には海賊船が碇泊。
異変に気付いた村のノロ婆、御獄で“ウガミ”をたてる。
大切な宝物「ぬぶしの玉」を盗まれた竜宮の神・竜王の怒り
だと土地の神から知らされ、狼狽してしまう。
海賊にさらわれた母を捜して島々をほつつき歩く10才の
小太郎は京太郎に出会う。訳を聞いた京太郎は、不憫に思い
小太郎を弟子にする。
久しぶりに会ったノロ婆から事のなり行きを聞いた二人は
急ぎ、「ぬぶしの玉」を捜しに向かう。
怒り狂って巨大竜に変身した竜王！
『「ぬぶしの玉」を盗んだのは誰か？』
悪役人ハッターか？欲張り海人キーマーか？それとも
怪しげな女海賊イラブーか？
煙を吐きながらに村を襲う巨大な竜!!
果たして島は、元の平和を取り戻せるのか？
また、小太郎は母に会えるのでしょうか？
人形を前後左右に放り投げ、パツと受け止めたかと思いきや、
空中回転する離れ技。踊り、走り、宙を飛ぶ35体の人形たち。
舞台狭しと駆ける馬、お尻フリフリ、楽しさ一杯の獅子舞、
エイサー集団。人形遣いの至芸といわれる皿回し、
などなど盛り沢山。。
今までの人形劇を超えた躍動感あふれる舞台。
拝金主義の現代社会を諷刺し、親子の愛の大切さを説く物語。
『乞う、ご期待!!!』

【京太郎の由来】

京太郎（ちよんだらー）とは、京都から来た太郎の意。
沖縄の各地を歩きまわった門付芸人、および、その芸人
たちの演じた芸能のことをいう。明治以前までは首里の
アンニヤ村（現、久場川団地や首里リウボウあたり）を
根拠地として、祝儀には万歳を奏し、余興に鳥刺し舞、
春駒の踊り（馬舞者）などを演じ、フトウキ（仏）と呼
ぶ人形をたずさえて各地でフトウキマーサー（人形芝居）
をしたと伝えられている。また家々に法事があるとその
家を訪ね、念仏歌をうたった。いまや沖縄芸能の“王様”
たるエイサーは、かつて念仏歌や踊りが中心となって変
化展開してきたのである。今日でもエイサーの冒頭は念
仏歌（ちゅんじゅん流り）で始まる習わしになっている。
「沖縄の念仏芸について」仲宗根幸市氏

【かじまやあの歩み】

風車に夢を乗せていつまでも回り続けたい、との思いで人形劇
団かじまやあを発足して32年になりました。人形劇の伝統がな
い沖縄での活動は厳しく、解散寸前まで追い込まれた時期もあ
りました。しかし幸運にも1984年台湾伝統人形劇5代目・鐘任
壁氏（西螺新興閣掌中劇団・人間国宝）に弟子入りがかい修行を
積むことができ、日本で唯一の台湾伝統人形劇の免許皆伝を受け
「琉球新興閣」の劇団名を頂いたおかげで活動を展開することが
できました。

これまで西遊記や水滸伝の作品を通して台湾人形劇の技芸を磨
きつつ、沖縄文化と中国文化をミックスした「チャンルー孫悟
空」を産み出し、県内だけでなく県外公演も盛んになり、沖縄文
化の担い手として貢献してきました。

その間、沖縄独自の作品づくりに専念し、1996年
「キジムナー」が産まれ県内外で大好評を得て、キジムナー旋風
をまきおこしてきました。

さて30周年は、かねてから沖縄人形芝居のルーツ京太郎を
やろうと取り組んできました。一般的には京太郎はエイサーの道
化としてしか知られていなくて、残念な思いでした。沖縄の芸能
に多大な影響を及ぼした京太郎、人形を仏まわしと言って門付け
をしながら、人々に祝福をもたらした京太郎のことを知ってもら
いたいとの思いで作品づくりを始めました。

思い起こせば32年前、泡瀬の京太郎の芸能を見た時に、耳に
こびりついて忘れられない“サントゥリサーシヌミサイナー”
の音だけが創作の支えでした。そのため脚本や音づくりではかな
り苦労しましたが、多くの方々のおかげで長篇作“チョンダラー”
ができました。せりふは沖縄演劇界の名優たちの出演により、個
性豊かな沖縄方言を聞かせてくれます。音楽はミルクムナリで有名
な日出克さんが現代音楽と沖縄民謡による構成で劇を一段と盛り
上げてくれます。人形制作は竹田人形座出身の森川永枝さんを中
心に、岡山県の玩具職人がエイサー集団人形を製作し披露します。
これまでにない大掛かりな演出で、観客の皆様を大満足させます。

（「かじまやあ」とは、沖縄の方言で「風車」の意味で
また97歳の長寿の祝いを表す言葉）

人形劇団かじまやあ

〒905-1635 名護市字済井出 226-2

TEL・FAX 0980-52-8084

<http://www1.ocn.ne.jp/~kajimaya/kajimaya/>



【会場】

★ 大阪沖縄会館

大阪市大正区千島3-19-3
地下鉄・JR環状線「大正」下車
市バス2番乗り場より10分
「大正区役所前」下車、徒歩3分